

令和元年度 荒神山自然の家活動支援スタッフ説明会記録

日時：令和元年6月2日（日） 午前10時より

場所：彦根市荒神山自然の家（集会室、クラフト棟）

活動の記録

本年度より、荒神山自然の家は、高木・技研特別共同体が指定管理者として管理することとなり、今回、本年度の自主事業の運営に協力していただける活動支援スタッフの募集をしたところ、18名の応募がありました。

説明会当日には12名の参加があり、スタッフの登録事務を行いました。

新規スタッフには本施設と活動場所の見学をしてもらった後に、今年度計画している自主事業の説明と、活動に当たっての諸々の注意事項を伝えました。

続いて、クラフト棟で、野外活動の研修をしました。

その内容は、野外調理実習と舞いきり式火おこしによる火種作りでした。

野外調理実習としては、野外炊事に必要な道具の準備をし、鉋（なた）や包丁など刃物の使い方を学ぶとともに、ダッチオーブンを使ってローストチキンを作り、アルミ箔で包んだ具材入りのパンを牛乳パックに入れてそのまま焼くカートンドッグを作りました。参加者は、多少の失敗はありましたが、最終的には上手に完成しました。

舞いきり式火おこしとは、木の棒（大きなこまの形をしている）を両手で錐のように回すと、下の板が擦れて火がおこるといふ古代の道具を使った教材による学習プログラムですが、なかなか火がおきずにかかなりの時間を要しました。

研修が終わると後片付けをして、閉会行事へと移り活動を終了しました。

最初は緊張していた新規活動支援スタッフも、一緒に実習をしたことで信頼関係が生まれ、ニックネームで呼び合えるまで仲良くなりました。この経験を生かして、今年度の自主事業では、活動支援スタッフが中心になって引っ張っていただければと良いなと思いつつ、これからの活躍に大きな期待を持てる一日となりました。